



研修修了第1号 ピーマン農家として新たな1歩

7月3日(月)、町中央公民館において「大崎町担い手育成農業研修事業閉講式」がおこなわれました。

町では、町内で独立就農をめざす方を対象に農業技術などを習得する研修事業を昨年度から実施しており、修了生第1号として山中清一郎さんと妻の真紀さんが研修を終えました。

山中さんは「研修で多くのことを学ぶことができました。この経験を活かして年間収量18トンを目標にこれから頑張っていきたいです」と意気込みを話されました。



ハウスみかんハサミ入れ式 収穫シーズン到来を祝う

6月29日(木)、永吉にある中水流健二さんのハウスみかんの園地において「令和5年度産ハウスみかんハサミ入れ式」がJAそお鹿児島の主催で開催されました。

今年は、実が大きく成長する時期に晴天が続いたことで、糖度と酸味のバランスの良い仕上がりがとなり、本町と志布志市の農家5戸で出荷量26.8トンを見込んでいるとのこと。

中水流さんは「去年は日照不足により糖度など懸念していましたが、今年は天候に恵まれ、糖度・着色とも良好で平年以上の出来栄になりました。地元の方々にぜひ食べていただきたいです」と話されました。



犯罪や非行の防止を 呼びかけ



▲大丸小学校への贈呈

7月3日(月)、「第73回社会を明るくする運動」のメッセージ伝達式および出発式がおこなわれました。

伝達式では、総理大臣のメッセージを町更生保護女性会の西ノ園翠さん、県知事メッセージを保護司会(大崎地区会)の日高智さんが東町長に伝達しました。

伝達後は啓発活動として、町内学校の訪問やだいわ大崎店前でのティッシュ配りをおこない、児童や買い物客に非行防止などを呼びかけました。



大崎空手会 全国大会出場を決め表敬訪問

大崎空手会の隈本優羽奈さん(大崎中学校3年)と北村美玲さん(大崎小学校2年)が、6月28日(水)、東町長を表敬訪問しました。お二人は、4月におこなわれた「全国少年少女・中学校空手道選手権大会鹿児島県予選大会」を勝ち抜き、全国大会出場を決めました。隈本さんは8月3日から4日に東京武道館でおこなわれる「全国中学生空手道選手権大会」に、北村さんは8月7日に同武道館でおこなわれる「全日本少年少女空手道選手権大会」に出場されます。

隈本さんは「中学生最後の大会なので、上位をめざしつつやりきったと思える試合をしたいです」北村さんは「上位になれるように頑張りたいです」と大会に向けて意気込みを話され、東町長がエールを送りました。